

未来を切り開け 九州から世界へ

佐賀大大学院「Day Dry」

近藤さん 中村さん 部屋干しののびを防ぐ



エタノールと水、洗濯のりの配合比を調べる「Day Dry」チームの近藤美咲代表(右)と中村駿介さん＝佐賀市の佐賀大大学院工学系研究科



佐賀大「Day Dry」代表
近藤美咲さん



崇城大「Ciamo」
リーダー
古賀碧さん

九州経済の発展を目指し若者
のアイデアを発掘する「学生起
業アイデア部門」。5大学18
チームから応募があり、佐賀大
学院「Day Dry」と崇
城大学生物生命学部「Ciamo」

学生起業アイデア部門

崇城大「Ciamo」焼酎かすで水質管理

「シアモ」が最終審査に残った。本大会でプレゼンテーションを行う。
ぬれた洗濯物がすぐ乾く。部屋干しの嫌なにおいを防ぐ促進剤を考えた「Day Dry」。佐賀大大学院工学系研究科の近藤美咲さん、中村駿介さんのチームだ。街頭調査でニーズがあることを確かめ、研究室の実験器具で開発中だ。「試作品はまだだが、自信を持って発表したい」。近藤代表は語る。

「Ciamo」は、焼酎かすによる光合成細菌の培養に成功。光合成細菌は主に農業の有機肥料や水産業の水質管理に用いられるが、高価なのが難点。廃棄処理される焼酎かすを用いると原価を抑えられることに目を付けた。「熊本県の産業発展に役に立てば」とリーダーの古賀碧さん。「東南アジアのエビ養殖用に向けて商品化を進める」という。

佳作には、農作物の人工授粉装置を考案した崇城大学「Pollena」が選ばれた。

第3回 九州未来アワード

世界が驚くKYUSHUへ。

独創的、革新的な取り組みで地域や九州経済に貢献する事業者をたたえる「第3回九州未来アワード～Asian Perspective（視野・展望）～」(佐賀新聞社など九州7新聞社主催)。企業・団体部門に九州各県から26社のエントリーがあり、審査で選

ばれた8社が、11月8日に熊本市で開かれる本大会で大賞(アワード)を目指しプレゼンテーションで競い合う。学生起業アイデア部門には2大学の学生が挑む。それぞれの手法で未来を切り開くファイナリストたちを紹介する。

2016年10月27日 佐賀新聞 P.25